

▼ノアルテンD錠 [内] <販売中止>

【重要度】 【一般製剤名】 ノルエチステロン/メストラノール配合剤 norethisterone/mestranol 【分類】 経口黄体・卵胞ホルモン配合剤

【単位】 ▼ノルエチステロン 5mg+メストラノール0.05mg/錠

【常用量】 <機能性子宮出血、無月経>1日1錠を7~10日間連続投与<月経困難症>1日1錠を月経周期第5日より約3週間連続投与<月経周期の変更>短縮:1日1錠を月経周期第5日より5日間連続投与。延長:1日1錠を予定月経の3日前から延長希望日まで連続投与<卵巣機能不全による不妊症>1日1錠を月経周期第5日より約3週間連続投与し、次の周期に妊娠成立を期す。

【透析患者への投与方法】 減量の必要なし (5)

【保存期患者への投与方法】 減量の必要なし (5)

【特徴】 メストラノール:合成エストロゲン

【主な副作用・毒性】 血栓症、肝障害、視力障害、Na⁺・体液貯留による浮腫、不正出血、消化器症状、皮膚症状など

【吸収】 ノルエチステロン:速やかにほぼ完全に吸収されるが初回通過効果を受ける (11) メストラノール:速やかにほぼ完全に吸収されるが、初回通過効果を受ける (11)

【F】 ノルエチステロン:初回通過効果のため60% (11) メストラノール:初回通過効果のため、45% (11)

【Tmax】 ノルエチステロン:2hr (1) 1~3hr (11)、メストラノール4~8hr (1)

【代謝】 ノルエチステロン:肝臓で17 α -エチニルエストラジオールに代謝 (1) メストラノール:主に肝臓でCYP2C9によりエチニルエストラジオールに代謝され、エストロゲン作用を発揮する (1) エチニルエストラジオールの主な代謝酵素はCYP3A4 (1) テトラヒドロ体に酸化され、グルクロン酸抱合される (11)

【排泄】 尿中未変化体排泄率1%未満 (11) ノルエチステロン:尿中から投与量の約30%が5日間で排泄され、6日目以降は尿中の排泄はなし。腸管循環を受けない (11) メストラノール:主に腎臓から排泄されるが、糞便中からも排泄される。また、腸肝循環が起こる。5日間の尿中排泄率は、31~36% (1例は52%) (1) 【CL】 エチニルエストラジオール:0.375L/hr/kg (11)

【t1/2】 ノルエチステロン:5hr (1) 5~12hr、平均7.6hr (11)、メストラノール:40~60時間 (1) α 相1~3hr、 β 相8~24hr (11)

【蛋白結合率】 ノルエチステロン:60%がアルブミンと、35%が性ホルモン結合グロブリン (SHBG) と結合 (11) エチニルエストラジオール:98% (11)

【Vd】 ノルエチステロン:240L/man (11) エチニルエストラジオール:3.8L/kg (11)

【MW】 298.42、310.43

【透析性】 透析されにくいと思われる (5)

【OW係数】 ノルエチステロン:933 [1・オクタノール/水] (1)

【備考】 喫煙と血栓症等の副作用の関連が報告されているため、服用時には禁煙が望ましい (1)

【更新日】 20101104

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。